

## 恵庭市島松公民館の視察について

		委員名	白石委員、轡田委員、渡邊委員
1 施設名	恵庭市島松公民館		
2 視察日時	令和 4 年 12 月 14 日 (水)	9:50~11:55	
3 対応者	恵庭市教育委員会社会教育課課長 黒氏優子氏 振興・文化担当主査 佐々木拓氏 同 主査 中井雅人氏 社会教育指導員 今井正樹氏		
4 調査メモ			

## (1) 施設の現状と課題

○建物 S58建設 H24-25大規模改修でバリアフリー化(エレベータ・点字ブロック・トイレ等)太陽光パネル設置 R3Wi-Fi整備 市唯一の公民館
○職員 中井主査、今井社会教育指導員常駐
○課題 ・住民活動が廃れてきている(運動会・文化祭・サマーキャンプ等)。・島松公民館のみが活動している。・コロナ禍で行事が減っている。・役員の高齢化も進んでいる。・学校と地学協働を模索している。・CS委員会をやっているが具体的なことはコロナで動けない。・今年3年ぶりに文化祭実施。・新しいことをしなければいけないと考えている。・子どもを巻き込む新しい活動必要

## (2) デジタル社会への対応

○要因・背景 ・利用者からのインターネット利用環境要求 ・自宅にWi-Fi環境の整っていない児童生徒対応 ・コロナ禍で市民の学びを止めない方策 ・スマートフォンの普及対応(特に高齢者) ・コロナワクチン接種Web予約の支援
○具体的取組 ・Wi-Fi設置 ・オンライン講座(英会話)開設 ・初心者のためのスマートフォン教室(ソフトバンク連携) ・新型コロナワクチンWeb予約支援(広報、民間の情報紙「ちゃんと」掲載、ポスターで周知)
○成果と課題 【成果】・来館者の利便性向上 ・オンライン講座による新型コロナ感染不安払拭、講師の移動負担軽減 ・ワクチン接種支援により予約への関心を高め、作業の不安軽減 【課題】・PCの不具合で参加できない方がいた ・対面式講座希望多数 ・個々のレベルに合わせる必要性 ・公共施設のWi-Fi環境の拡充
○これからの公民館 ・ICT活用の学習機会に積極的取組 ・事業によって、高校・大学等と連携し、学生を講師活用し異年齢交流促進につなげたい

## (3) 障害者の生涯学習の推進(実施事業、ハード面の工夫、学習情報の提供、人的支援体制等)

・ハード面(スロープ、点字ブロック、オストメイト、エレベータ、優先駐車スペース)は整えているが、実施事業はこれからという状況。他の団体とやれることがあればと考えている。
・現在は問い合わせがあれば受入対応している。
・手話講座は生活福祉課、外国籍の方は企画課が担当

## (4) 他部局(保健福祉、防災、まちづくり、学校教育等)との連携

・基地・防災課と連携し、防災学習会実施、避難所運営マニュアル検証・改定、防災備品設置、町内会ごとに自主防災組織を作り防災学習会、地域の方と職員が一緒に防災訓練
---

## (5) 職員研修の方法や内容

・オンライン研修会
・北海道公民館協会の研修参加
・石狩教育局の指導、情報交流等を活用

## (6) その他(住民の主体的な社会教育の促進、市政上の役割、新たな取組や構想など)

・施設視察
活動(石膏デッサン2B会、市民講座(料理(パン・菓子)) 施設(子どもひろば、和室、多目的交流室等)
・市民講座の受講は3年まで、以降はサークル化を促す。主催事業とサークル活動が一体となる仕組み。市民感覚の変化(やりたいことだけやればよい等)
・CSとの関わり ・市民講座の作品を中学校に展示~市民のモチベーション向上、生徒も作品を見て感じることもある~人ではなく作品を通じた交流 ・サマーキャンプ支援(小学校のおやじの会が公民館役員も兼ねて支援) ・島松地区はコミュニティとして成立